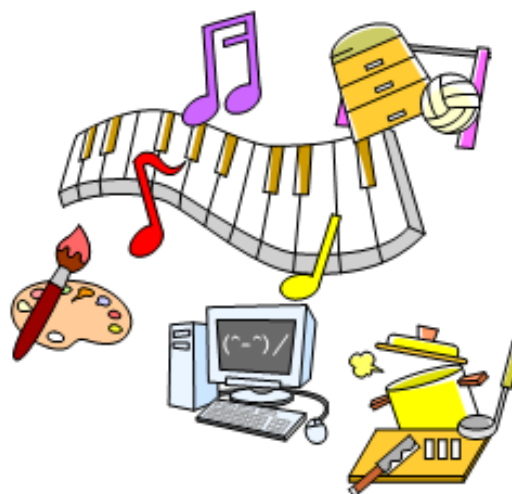
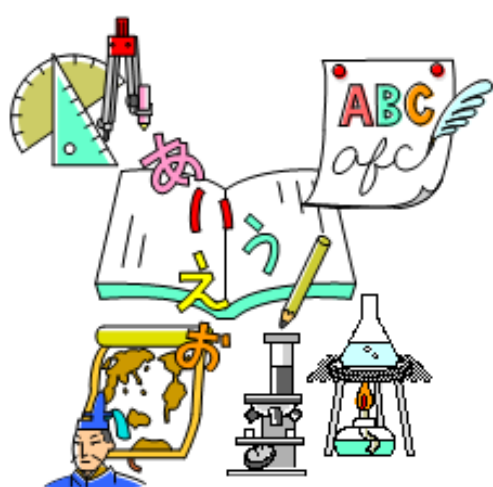


令和8年度
鈴鹿市立天栄中学校

1年生

シラバス



1年	組	席	名前
----	---	---	----

シラバスとは

授業は、各教科の年間計画に基づいて実施されています。年間計画は、文部科学省が規定する学習指導要領に基づいており、時には、教科書とは違う内容を学習することもあります。この年間計画を事前に伝え、自主的に学習できるように、シラバスを配付しています。

シラバスの中には、授業の年間計画のほか、評価の観点、授業の受け方、各教科の単元内容とその単元のねらいなどが書かれています。このシラバスを活用して、計画的に学習する習慣をつけてください。

よくわかる授業の受け方
◎授業の内容をよく理解するためには、準備が必要です。 ①チャイムが鳴ったらすぐ席に着き、授業の準備をする ②授業に必要なものは、机の上に出し、すぐに使えるようにする ③忘れ物をしない ④宿題は必ずやる ⑤予習・復習をする習慣をつける
◎積極的に授業に参加しましょう。 ①手を挙げて、自分の意見を発表する ②活動や実験・実習には、積極的に取り組む ③ノートはきちんととる ④授業での「めあて」を意識して授業を受け、授業の終わりには必ず「振り返り」をする

よくわかる授業の受け方
①授業の内容を理解するのに、家庭での学習を欠かすことはできません。必ず、家庭学習の時間を 作ってください。最初は面倒でも、続けていけば習慣になります。
②宿題は必ずやりましょう。宿題は、その日に習ったことの復習や、次の授業に必要な準備です。宿題をしていないと、次の授業に差し支えるので、取り組む習慣をつけましょう。
③予習では、自分でできることに取り組みます。語句や単語の意味を調べたり、本文をノートに写したりするとよいでしょう。
④暗記が必要な科目では、復習が有効です。今日習ったことは今日のうちに復習しておきましょう。また、授業中にとったノートはそのままにせず、自分なりにまとめ直してみると、内容が整理できて、理解が深まります。
～家庭学習は、自分のペースで行えます。計画を立てて、実行してください～

	1年	2年	3年
国語	140	140	105
社会	105	105	140
数学	140	105	140
理科	105	140	140
音楽	45	35	35
美術	45	35	35
保健体育	105	105	105
技術・家庭	70	70	35
英語	140	140	140
道徳	35	35	35
特別活動	35	35	35
総合	50	70	70
合計	1015	1015	1015

中間テスト	5月21日木	5月22日金	
期末テスト	6月17日水	6月18日木	6月19日金
中間テスト	9月24日木	9月25日金	
期末テスト	11月25日水	11月26日木	11月27日金
学年末テスト3年	1月12日火	1月13日水	1月14日木
学年末テスト1・2年	2月24日水	2月25日木	2月26日金

教科名	学年	週時間数
国語	1	4

シラバス 2026
鈴鹿市立天栄中学校

教科書	国語 1（光村図書） 中学書写 一・二・三年（光村図書）
副教材	学習漢字ノート 1（浜島書店）国語スイッチ 1（正進社）学習の達成国語 1 年（新学社） すらすら基本文法（浜島書店）新・国語の便覧（正進社）

指導の重点	言葉による見方・考え方 表現力 知識技能
教科のねらい	・授業に積極的に取り組み、国語を意欲的に学ぶことができる。 ・自分の見方や考え方を深め、表現の仕方に注意して話し、聞き、書くことができる。 ・様々な文章を読み、目的や意図に応じて読み取る能力を育てる。 ・国語の基礎的な事項や知識を身につける。 ・書く力をつける。 ・人の話を聞き、的確に受け答えできる力をつける。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	言語について正しい知識を持ち、適切に使うことができる。 漢字練習や意味調べを通して語彙を増やすことができる。	・授業観察 ・小テスト ・定期テスト
観点② 思考・判断・表現	みんなに聞こえる声で正確に読むことができる。自分の考えや気持ちを発表することができる。友だちの意見を的確に聞きとることができる。 丁寧で、読みやすい文章を書くことができる。意図や趣旨、自分の気持ち等をまとめて書くことができる。 文章の要旨をとらえ、自分の意見を持つことができる。	・授業観察 ・朗読 ・話し合いや発表での話し方、聞き方 ・話す・聞くテスト ・定期テスト
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	授業の約束事を守り、宿題・ノート整理等ができる。思ったことや感じたことを発表できる。 自らの学習を振り返り、今後の学習に生かすことができる。	・授業観察 ・ノート ・振り返りシート ・小テスト

授業の受け方	・持ち物や宿題を忘れないようにする。 ・提出物の期限を守る。 ・人の発表や発言はしっかりと聞き、自分の考えは挙手してはっきりと言えるようにする。 ・後で見た時に分かりやすいノートを作る。 ・自らの学習を振り返り、今後の学習に生かす。
--------	--

1年	国語
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	- 朝のリレー - 野原はうたう - はじまりの風 - 書き留める - 言葉を調べる - 続けてみよう	- 詩に登場する国や街がどこなところか、また、そこで、どんな人が何をしているのか、情景を想像しながら音読する。 - 詩を読んで想像した情景や、好きな言葉や表現などをグループで交流し、どのように音読すれば、詩のよさが伝わるかを相談する。 - 詩のよさが伝わるように工夫して音読する。 「書き留める」を読み、ノートの書き方の工夫を理解する。◇小学校のときのノートの取り方と比較する。 「言葉を調べる」を読み、辞典・事典で言葉を調べる方法を理解する。 - 辞典・事典類の種類と特徴を確認し、何を調べるときに役立つかを理解する。 「続けてみよう」を読み、「言葉の手帳」を作る。印象に残った言葉や気になった言葉を、日付や感想とともに書き留めていくことを確認する。 - 最初の言葉を書き込み、その言葉との出会いや意味、使い方などを書いて、友達と交流させる。	◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。 ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。 ◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。 ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。
	5	- 季節のしおり 春 - ダイコンは大きな根？ - ちょっと立ち止まって	- 春の植物や動物にまつわる言葉や、春の情景を詠んだ俳句や和歌、詩を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。 - 文章の中心となる部分を探る。 - 筆者が「思い」を込めかけている段落と、それに対する「答え」を示している段落を見つけ、それぞれ短い言葉でまとめる。 - 段落の役割について考える。 - この文章を構成する10の段落が、文章全体の中で、それぞれどんな役割を果たしているかを考える。 - 筆者の説明のしかたに注目して、この文章のわかりやすさの秘密を話し合う。 - 共感・納得したところや発見・気づき、疑問点等を挙げる。 - 文章全体を、序論・本論・結論に分け、さらに、本論を二つのままとりに分ける。 - 結論に書かれている内容に着目して、文章の要旨をまとめる。 - 文章の構成に着目し、序論・本論・結論の役割を考える。 - 文章と図との対応に注意し、本論の図がそれぞれ何を述べるために示されているかをひと言でまとめる。 - 結論を書くために、序論と本論がどのような役割を果たしているかを考える。 - 筆者の主張を踏まえ、生活の中で、ものの見方や考え方が広がったと思われる体験や事例を発表する。	◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。 ◎文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。 ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。
	6	- 情報を整理して説明しよう - 指示する語句と接続する語句 - 空の詩 三編 - 詩の創作教室 - 様々な表現技法 - 比喩で広がる言葉の世界 - 言葉のまとまりを考えよう	- 導入の課題に取り組み、指示する語句や接続する語句について関心をもつ。 - 指示する語句について理解する。 - 前後の文をつなぐ働きを理解する。 - 接続する語句の働きによる分類について理解する。 - 接続する語句には書き手や読手の気持ちが反映されることを知る。 - 詩について、感にどう交流する。 「比喩（たとえ）」を読み、比喩の種類による印象の違いを考える。 「反復」「倒置」、P70「体言止め」「省略」「対句」を読み、表現技法によるリズムの違いや効果について考える。 - 例文を基にそれぞれの技法の特徴を理解する。比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 - 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法について、具体的な言葉挙げて指摘している。 - 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法について、学習課題に沿って、積極的に理解を深めようとしている。 - 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。 - 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。 ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 ◎書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。 ◎指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めることができる。 ◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。 ◎文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。 ◎根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 ◎根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。 ◎文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。
2	7	“情報収集の達人になろう 読書を楽しむ 本の中の中学生 季節のしおり「夏」”	- 本を読んだ後、記録をしたり、友達に紹介したりする学習活動について理解する。 - 考えていることや悩んでいることが似ている登場人物、友達になれそうな登場人物はいないか、探しながら読む。 - 夏の植物や動物にまつわる言葉や、夏の情景を詠んだ詩や俳句を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 ◎文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かものにするすることができる。 ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 ◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。 ◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。
	9	大人になれなかった弟たちに 星の花が降る頃に 方言と共通語 漢字の音訓 漢字に親しもう	- 描写に着目して登場人物の心情を探る。 - 提示された部分以外にも、登場人物の心情がわかる描写に線を引き、心情を考える。 - 題名のもつ意味について考える。 - 出典の絵本や、戦争に関する本や資料を併せて読み、作品の時代背景を踏まえて、題名のもつ意味について話し合う。 - 場面や描写を結び付けて内容を解釈する。 - 同じ物や場所が描かれている場面や描写を、図などを使って整理・比較し、どんなことが読み取れるか伝え合う。 「星が降るように」のような比喩表現を探し、どんな情景や気持ちを表しているか考える。 - 導入の課題に取り組み、地域による言葉の違いについて関心をもつ。 - 教材文を読み、方言と共通語の違いを理解する。 - 語句・表現・文末表現・発音の違いを知る。 - 共通語の必要性を知る。	◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。 ◎場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。 ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。 ◎場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することができる。 ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 ★小説を読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする。 ◎共通語と方言の果たす役割について理解することができる。
	10	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 意見と根拠 漢字に親しもう3 根拠を明確にして書く 言葉の関係を考えよう	- 文章の構成と内容を捉える。 - 提示された内容がどの段落に述べられているか、考えながら読む。 - 筆者が、どのような事実を基に仮説を立てたかを筋道にまとめる。 「仮説・構成・予定」「検証・証明・裏づけ」の言葉の意味や使い方の違いを考える。 - 文章の構成や展開の効果や、根拠を明確にして考える。 - 筆者が「事実」をどう「意見」へと展開しているのか、形式段落の冒頭や文末表現に着目して読み取る。 - レポートの体裁や引用のしかた、出典の示し方を確かめる。 - 集めた情報を整理し、レポートの項目ごとに、書く内容と順序を考える。 - 情報の比較・分類のしかた、順序や流れの整理のしかたを確認する。	◎学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 ◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる。 ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 ◎根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 ◎根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。
11		大阿蘇 季節のしおり「秋」 古典の世界 いろは歌 蓬菜の玉の枝「竹取物語」 今に生きる言葉 古典の言葉 漢字を読む 「不便」の価値を見つめ直す	- 朗読音声を聴き、言葉の働きやリズムを味わう。 - 秋の植物や動物にまつわる言葉や、秋の情景を詠んだ詩や和歌、俳句を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。 - 古典の文章を音読し、現代の文章との違いを確かめる。 - 古典の文章を、リズムを味わいながら繰り返し音読する。 - 使を違いが違う部分の読み方を確かめる。 - 文末の言葉の違いを確かめる。 - 現代とは違う意味が使われている言葉や、現代では使われなくなった言葉の意味を確かめる。 - 漢文を、リズムを味わいながら音読する。 - 繰り返し音読し、漢文のリズムや、特徴的な言い回しに親しむ。 - 自分の生活と結び付けて考える。 - 筆者の「不便」の定義を確かめる。 - 筆者が「不便のよい面」として、どんな事例を基に、どのような点を挙げているか捉える。	◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 ◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎古典にはさまざまな種類の作品があることを知る。 ◎音読に必要な文語のしまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。 ◎文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かものにする。 ◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解を深め、それらを使うことができる。 ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 ◎目的に応じて必要な情報に目して要約し、内容を解釈することができる。 ◎文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かものにする。 ◎根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。

	12	「話し合い（進行）」進め方について考えよう 漢字に親しもう4 季節のしおり「冬」 話題や展開を捉えて話し合おう	・冬の植物や動物にまつわる言葉や、冬の情景を詠んだ詩や短歌を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。 ・どのような点に気をつけて、意見と根拠を話したり聞いたりしたか、自分の言葉でまとめる。 ・話題からそれないように話したり、他の人の発言と結び付けて話したりするために、どのような工夫をしたか、自分の言葉でまとめる。 ・話題や展開を捉えて話し合うにあたって、効果的だと思った友達発言を挙げる。	◎学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 ◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。
3	1	少年の日の思い出 漢字に親しもう5 二十歳になった日 構成や描写を工夫して書こう 単語の性質を見つけよう	・語り手の変更に注意しながら、全体が前半と後半の二つに分かれていることを確認する。 ・時間、場所、出来事に着目しながら、後半を幾つかの場面に分け、それぞれ短くまとめる。 ・どの語句や表現から、語り手や語り手から見た他の登場人物の人物像が伝わってきたかを挙げる。 ・「僕」のものの見方について、自分との共通点・相違点はどこか、自分の言葉でまとめる。 ・別の登場人物の視点も踏まえて読むことで、自分の考えや作品の印象はどのように変わったかを挙げる。 ・単語の性質について考える。 ・単語を組み合わせる過程で、性質の違いに気づき、それによって分類できることを理解する。 ・心情を表す語句や表現などに着目し、筆者が「二十歳になった日」に感じたことを挙げる。 ・筆者の思いや考えが伝わる表現について、「どう書かれているか」に着目して表現の効果を考える。	◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。 ◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。 ◎根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 ◎単語の類別について理解することができる。
	2	1年間の学びを振り返ろう 漢字の成り立ち ほくがここに	・漢字の成り立ちについて理解する。 ・「象形」「指事」「会意」「形声」を用例とともに確認する。 ・国字について知る。 ・漢字の分類「六書」について知る。 ・漢和辞典を利用して練習問題を解き、漢字の成り立ちを調べ、分類する。 ・特に効果的だと思った表現技法を挙げる。 ・特に想像を広げることができたのは、詩の中のどの部分か挙げる。 ・交流を通して詩の印象はどのように変化したか、簡単に整理する。	◎学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 ◎相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 ◎比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。 ◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。
	3	1年間の自分とクラスを振り返って	・記事を推敲し、紙面を作る。	・読み手の立場に立って文章を読み返し、表記や表現の仕方などを確かめて、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。

教科名	学年	週時間数
社会	1	3

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	『社会科 中学生の地理』（帝国書院）『中学校社会科地図』（帝国書院） 『新しい社会 歴史』（東京書籍）	
副教材	『社会の自主学習 地理1』（新学社） 『地理資料集 世界・日本』（新学社） 『学習の達成 地理1』（新学社）	『社会の自主学習 歴史1』（新学社） 『歴史の資料』（正進社） 『学習の達成 歴史1』（新学社）

指導の重点	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
教科のねらい	多面的・多角的な見方や考え方ができることを目標に、生徒の「学ぶ意欲」「思考力」を高めることを目指す。また、基礎的な知識を身につけることを通して自国の歴史・文化・国土・制度を理解し、他国の文化が尊重ができる国際人としての自覚を高める。 【表現力の指導】 自分の考えをまとめ、他者にわかりやすく発表する。小グループでの話し合いを通して、自分の考えをさらに深める。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	社会的な事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を正しく身につける。また、各種資料を読み取り、効果的に活用できる技能を身につける。	授業中の発表内容 ワークシート・レポートの資料 活用の内容 テスト
観点② 思考・判断・表現	社会的な事象から課題を見つけ、相互の関連をいろいろな角度から考え公正に判断する。 それらをまとめ文章で表現したり発表したりできる。【表現力】	授業中の発表内容 ワークシートの考察 レポートのまとめ方 振り返りシート テスト
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	学習内容への関心を持ち、授業や家庭学習において主体的に学習に取り組もうとする。	準備物 発表 振り返りシート ワークシート・レポート等の提出物 授業態度

授業の受け方	・チャイムが鳴るまでに授業の準備をして着席しておこう。 ・黒板に書いたことや自分で気づいたことをプリントなどに工夫してまとめよう。 ・わかったことや自分の考えを積極的に発表しよう。 ・レポート・ワーク等の課題に取り組み、提出期限を守ろう。 ・「つながり」を考えることが大切。つながりを考えるうえで土台となるのは「知識」ですが、「なぜ」（理由・疑問）を追求することを目指そう。
--------	---

1年	社会
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	〔地理〕第1部 世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿 第2章 日本の姿	私たちの住む地球を眺めて いろいろな国の国名と位置 緯度と経度 地球儀と世界地図の違い 世界の中での日本の位置	・六大陸、三大洋の名前・位置・面積・形がわかる。 ・時差の計算ができる。 ・地球儀と世界地図を目的に応じて使う。 ・緯度と経度のしくみや使い方がわかる。 ・地域区分がわかる。
	5	〔地理〕第2部 世界の様々な地域 第1章 人々の生活と環境	世界のさまざまな生活と環境 熱帯・乾燥帯・温帯・寒帯・熱帯・高山気候の暮らし 世界各地の衣食住とその変化 人々の生活と宗教の関わり	・さまざまな気候の雨温図を読み取ることができる ・生活の特徴をとらえる。 ・三大宗教の考え方を知る
	6	〔地理〕 第2章 世界の諸地域	アジア州 ヨーロッパ州	・それぞれの州の自然・政治・文化・経済についてまとめることができる。
	7	〔地理〕 第2章 世界の諸地域	アフリカ州 北アメリカ州	・それぞれの州の自然・政治・文化・経済についてまとめることができる。
2	9	第2章 世界の諸地域	南アメリカ州 オセアニア州	・それぞれの州の自然・政治・文化・経済についてまとめることができる。
	10	歴史学習の初めに 第1章 歴史へのとびら	歴史の見方・考え方をつかむ。 古代文明と宗教のおこり	・日本列島で狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広がりとともに変化していったことを理解する。
	11	第2章 古代までの日本	古代国家の歩みと東アジアの世界①	・それぞれの州の自然・政治・文化・経済についてまとめることができる。 ・四大文明の発祥の時代・場所・特徴をまとめることができる。
	12	第2章 古代までの日本	古代国家の歩みと東アジアの世界②	・日本列島で狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広がりとともに変化していったことを理解する。
3	1	第2章 古代までの日本	古代国家の歩みと東アジアの世界③	・国家が形成されていくあらしを東アジアとのかかわり、古墳の広まり 大和政権による統一を通してとらえることができる。
	2	第3章 中世の日本	武士の政権の成立	・武士が次第に力をつけ武家社会が発展していった過程を理解する。 ・中世の国際関係と社会の変化について考えることができる。
	3	第3章 中世の日本	ユーラシアの動きと武士の政治の展開	・鎌倉幕府の滅亡と室町幕府の成立過程をまとめることができる。 ・室町時代末の混乱の様子を知る。

教科名	学年	週時間数
数学	1	4

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	『未来へひろがる 数学1』 (啓林館)
副教材	数学の問題ノート (新学社) 積み上げ (明治図書)

指導の重点	学ぶ意欲 思考力 表現力 処理技能
教科のねらい	・授業に積極的に取り組み、数学に対する興味関心を持つ。 ・課題に対して、自分で考えたり、人の意見を取り入れて、解決に向けて取り組む。 ・基礎基本を確実に身につけ、それを利用して、課題が解決できる。 ・数学的な活動を通して、物事を多面的にとらえる力を身につける。 【表現力の指導】 ・具体的な事象を数学的に表現し、処理をする。 ・途中の式や考え方、理由を説明する。 ・数学的な表現を用いて学び合う場面設定を積極的に導入し、相互に伸びることを目指す。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	各単元における基本的な数や式、ことばの意味などを理解する。	・自分なりに説明したり、自分 なりの表現で答えたりすること も評価する。
観点② 思考・判断・表現	解法の手がかりを見つけたり、別な方法から考えたりする。 途中の式や考えを書き、答えを導き出す。【表現力】 具体的な事象を数学的に表現し、処理を行う。【表現力】	・レポート ・定期テスト ・結果だけでなく、途中の式や 考え方も評価する。
観点③ 主体的に学習に 取り組む態度	提出物・準備物を忘れず、プリント等を整理し保管する。 授業態度（座る姿勢、私語、取り組み）をきちんとする。 発表する。 ノートを丁寧にとり、途中の計算式も書く。	・授業観察（発言・ノートへの 記述など）・提出物（ワーク ブックなど）

授業の受け方	・授業に集中して取り組む。 ・提出物の期限を守る。 ・人の発表や発言はしっかりと聞く。 ・ノートは見やすく書く。 ・途中の式も書く。 ・グループ活動ではわからないところを互いに教え合う。 ・確実に理解するため、ワークブックや問題プリントでくり返し練習する。
--------	--

1年	数学
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	正の数・負の数	符号のついた数 数の大小	・＋や－の記号を使って、数量を表すことができる。 ・不等号を用いて、数の大小を表すことができる。
	5		正の数・負の数の加法、減法 加法と減法の混じった計算 正の数・負の数の乗法、除法 乗法と除法の混じった計算 四則の混じった計算	・正の数、負の数の計算ができる。 ・数の範囲による計算の可能性を理解する。
	6	文字と式	正の数、負の数の活用 文字を使った式 文字式の表し方、数量の表し方 式の読みとり	・正の数、負の数を活用して、身のまわりの問題を考えることができる。 ・いろいろな数量を、文字を使った式で表すことができる。
	7		文字式と数の乗法、除法 文字式の加法・減法 式の活用 数量の関係を表す式	・一次式における文字式の計算ができる。 ・いろいろな整数を文字式で表すことができる。 ・数量の関係を等式や不等式に表すことができる。
2	9	方程式	方程式とその解 等式の性質 方程式の解き方 いろいろな方程式 方程式の利用	・方程式とその解、方程式を解くことの意味と等式の性質を理解する。 ・移項の意味、方程式を解く手順について理解する。 ・いろいろな方程式の解き方を考え、解くことができる。
	10	比例と反比例	関数 比例の式 座標 比例のグラフ 反比例の式、反比例のグラフ	・関数の意味を理解する。 ・比例の関係を理解し、式に表すことができる。 ・座標平面上の点を読み取ったり、点を表すことができる。 ・比例や反比例の関係を式に表すことができる。また
	11	平面図形	比例、反比例の利用 直線、線分、角 2直線の位置関係、点と直線の距離 円とおうぎ形	・身のまわりの事象を比例、反比例の関係を利用して、問題を解決することができる。 ・直線と線分、角についての用語・記号を理解する。 ・位置関係や距離について、理解する。
	12		図形の移動 円とおうぎ形の計量	・平行移動、回転移動、対称移動の意味と基本的な性質を理解する。 ・円とおうぎ形での用語、記号、性質を理解し、中心角、弧の長さ、面積を求めることができる。
3	1	空間図形	いろいろな立体 直線や平面の位置関係 面を動かしてできる立体	・立体における用語や見取図、展開図について理解する。 ・距離の意味や、空間における平面や直線の位置関係を理解する。 ・立体の見方を理解する。
	2		立体の表し方 立体の体積と表面積	・見取図、展開図、投影図について、理解し、相互に表現できる。 ・角柱、円柱、角錐、円錐や球における表面積や体積の求め方を理解し、計算ができる。
	3	資料の整理と活用	度数分布 代表値 累積度数 ことがらの起こりやすさ 近似値と有効数字	・統計の必要性和意味を理解する。 ・平均値、中央値、最頻値のちがいを理解し、資料の傾向を読み取ることができる。 ・有効数字や近似値、誤差の必要性和意味を理解する。

教科名	学年	週時間数
理科	1	3

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	未来へひろがるサイエンス1（啓林館）
副教材	理科の学習（浜島書店）、学習の達成（新学社）、理科便覧（浜島書店）

指導の重点	学びに向かう力・人間性 理科の見方・考え方 表現力
教科のねらい	自然の事物・現象に対する関心を高める。 目的意識を持った実験・観察等を行い、科学的に探究する能力と態度を育てる。 自然の事物・現象についての理解を深める。 科学的な見方や考え方を養う。 【表現力の指導】 話し合い活動や発表を通して、自他の意見や考えを深め、まとめる。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	授業で学習した内容を説明することができる。 重要な語句・文章をきちんと書くことができる。 実験・観察等、器具を正しく安全に扱うことができる。 レポートを分かりやすく丁寧に書きまとめることができる。	定期テスト・単元テストにおける知識・技能に関した得点 レポートの内容評価 実技テスト 授業内の相談・発言内容
観点② 思考・判断・表現	事物・現象についてすじみち立てて説明することができる。 科学的な理論に基づいて、計算で求めることができる。 自分の考えを人にわかりやすく伝えることができる。	定期テスト・単元テストにおける思考・判断・表現に関した得点 レポートの内容評価 授業内の発言内容
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	授業に積極的に参加することができる。 ・学習課題に対して粘り強く取り組むことができる。 ・自らの学習を調整しようと取り組むことができる。 自分の学習をしっかり振り返り、今後の学習に生かすことができる。	行動評価 ノート（授業＋自主学習）の記述 レポートの提出評価 振り返り学習 振り返りシート

授業の受け方	授業に積極的に参加しよう。 私語はせずに、指示や発表・発言をしっかり聞き、自分の意見をしっかり発表しよう。 実験・観察においては、器具の扱いや手順をしっかり理解し、安全に協力して参加しよう。 黒板に書いたことや自分で気づいたことをノートに工夫してまとめよう。 ノート・レポート・ワーク・プリント等の課題をきちんと仕上げ、期限を守って提出しよう。 自らの学習を振り返り、今後の学習に計画・修正・改善をして生かそう。
--------	--

1年	理科
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	【自然の中にあふれる生命】	身のまわりの生物の観察 生物のなかま分け	・ルーベや顕微鏡を用いて生物を観察し、レポートにまとめることができる。 ・目的に応じて多様な分類の仕方があることを理解する。
	5	【いろいろな生物とその共通点】 植物の特徴と分類	花のつくり 子葉・葉・根のつくり 種子をつくらない植物 植物の分類	・植物のからだのつくりを理解し、説明できる。 ・植物のなかま分けができる。
	6	動物の特徴と分類	動物の体のつくりと生活 背骨のある動物 背骨のない動物 動物の分類	・いろいろな動物の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則を理解する。 ・動物のなかま分けができる。
	7	【身のまわりの物質】 いろいろな物質とその性質	物質の区別 重さ・体積と物質の区別	・さまざまな方法で物質の区別ができる。 ・ガスバーナーや電子てんびんなどの実験器具の操作、記録のしかたなどの技能を身につける。
2	9	いろいろな気体とその性質 水溶液の性質	気体の区別 身のまわりのものから発生した気体の区別 物質のとけ方 濃さの表し方 溶質のとり出し方	・いろいろな気体の性質について理解する。 ・気体を発生させる方法や捕集方法などの技能を身につける。 ・水溶液の性質について、粒子のモデルを用いて理解する。 ・水溶液から溶質を取り出す方法と溶解度の関係について説明できる。
	10	物質の姿とその変化	物質のすがたの変化 状態変化と温度 混合物の分け方	・状態変化における物質の体積と質量の変化について理解する。 ・物質の融点や沸点についての基本的な概念や原理・法則を理解し、混合物から物質の分離ができることを説明できる。
	11	【光・音・力による現象】 光による現象	光の進み方 光が通りぬけるときのように レンズのはたらき	・光の反射や屈折の実験を通して、光の性質・規則性について見いだす。 ・凸レンズのはたらきについての実験を通して、物体の位置と像の位置および像の大きさや向きを見いだす。
	12	音による現象	音の伝わり方 音の大小と高低	・音はものが振動することによって生じること、音は波として空気中を伝わること、音の大きさや高さは音源の振動のしかたに関係することを見いだす。
3	1	力による現象	力のはたらき 力の大きさのはかり方 重さと質量 力の表し方 1つの物体に2つの力がはたらくとき	・力を大きさと向きによって表されることを理解し、作図することができる。 ・2力のつり合いの実験を通して、1つの物体にはたらく2力がつり合う条件を見いだす。
	2	【活きている地球】 身近な大地 ゆれる大地 火をふく大地	身近な大地の変化 地域の大地の観察 ゆれの発生と伝わり方 ゆれの大きさ 日本列島の地震火山の噴火 マグマの性質と火山 マグマからできた岩石 日本列島の火山	・大地の成り立ちについて理解する。 ・地震のゆれの伝わり方の規則性を見いだす。 ・地震の原因などをプレートの動きと関連づけて理解する。 ・火山活動のようすは、マグマの性質が深く関係していることを考察する。 ・マグマからできる火成岩の特徴を、成因と関連づけて理解する。
	3	語る大地 1年生のまとめ	地層のでき方 地層の岩石 地層・化石と大地の歴史 大地の恵みと災害	・地層の重なり方や広がり方の規則性をとらえる。 ・構成する岩石や化石をもとに、地層が堆積した時代や当時の環境を推測できることを理解する。 ・プレートと火山活動や地震などとの関連を総合的にとらえ、大地からの恵みや災害について理解する。

教科名	学年	週時間数
音楽	1	1.3

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	中学生の音楽 1
副教材	「MY SONG」(教育芸術社) 「音楽のハーモニー」(正進社)

指導の重点	「学ぶ意欲」「表現力」
教科のねらい	・授業で扱う内容について、興味関心をもって取り組める。 ・大きな声で表現することができる。 ・曲想にあった表現ができる。 ・仲間とともに音楽を表現できる。 ・様々な音楽文化に関心を持ち鑑賞できる。 【表現力の指導】 ・歌うことを通して自分を表現する力をつける。 ・歌うことを通して音楽を表現する力をつける。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	・音楽表現をするために必要な基本的な知識・技能を身につけている。	・定期テスト ・実技テスト ・授業観察
観点② 思考・判断・表現	・音楽を形づくっている要素を楽譜から読み取り、音楽活動に生かすことができる。 ・音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。	・定期テスト ・実技テスト ・鑑賞の記録 ・授業観察
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	・音楽活動に親しみながら、自ら進んで、また仲間と協力して音楽学習に取り組もうとしている。 ・楽曲を完成させるために粘り強く取り組もうとしている。	・授業観察(活動の様子) ・忘れ物・提出物・発表 ・実技テスト

授業の受け方	・授業準備物を忘れないようにする。正しい服装で参加する。 ・話をよく聞き、授業に集中して参加する。 ・失敗や間違いを恐れずに素直な心で思いっきり表現する。
--------	---

1年	音楽
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	・オリエンテーション ・発声練習	・授業の約束事を確認する ・腹筋・呼吸の練習をする ・「校歌」 ・「We'll find the way」	・先生の話をきちんときける。 ・忘れ物をしない。 ・正しい服装で受けることができる。 ・歌唱に必要な発声法を学ぶ。 ・校歌を暗記して、大きな声で堂々と歌える。
	5	鑑賞	・「We'll find the way」 ・「ジョーズのテーマ」 ・「春」～第一楽章～	・合唱の仕方を学ぶことができる。 ・音楽の要素に注目して聴くことができる。 ・仲間の意見をしっかりと聞くことができる。
	6	情景を思い浮かべながら歌おう	・「赤とんぼ」 ・実技テスト	・言葉の美しい響きを生かしながら歌うことができる。 ・パートで意見を伝え合いながら合唱づくりができる。
	7	クラスの歌声をつくろう	・パート分け、パート練習のスタート	・パートで意見を伝え合いながら合唱づくりができる。 ・曲の構成や曲想の変化を感じとって歌うことができる。
2	9	合唱の喜び	・合唱コンクール課題曲 ・合唱コンクール自由曲	・パート練習に真面目に取り組むことができる。 ・パートの役割を知りハーモニーの美しさを感じながら歌うことができる。
	10	合唱の喜び	・合唱コンクール課題曲 ・合唱コンクール自由曲	・クラスのメンバーと合唱する楽しさを感じることができる。
	11	合唱コンクールをふり返えよう。情景を思い浮かべて歌おう	・実技テスト ・「浜辺の歌」	・真面目に実技テストを受けることができる。 ・日本語の美しい響きを感じ取り歌うことができる。 ・合唱コンクールでつけた力を充分発揮し歌うことができる。
	12	鑑賞	・「魔王」	・音楽の要素に注目して場面を想像することができる。 ・詩の内容と曲想の変化とのかかわりを感じとることができる。
3	1	鑑賞 心を込めて歌おう	・箏曲「六段の調べ」 ・「卒業式歌」	・日本の伝統音楽に親しむことができる。 ・自分たちでパート練習の内容を考えることができる。
	2	心を込めて歌おう	・箏曲「六段の調べ」 ・「卒業式歌」	・パート練習に真剣に取り組むことができる。 ・想いを込めて合唱することができる。
	3	合唱 鑑賞	「Unlimited」 「ミュージカル鑑賞」	・パートの役割を感じ取って合唱ができる。 ・ミュージカルに親しみ、その音楽を味わう。

教科名	学年	週時間数
美術	1	1.3

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	「美術Ⅰ」 光村図書
副教材	「新レタリング・ポスターの資料」 正進社 「美術資料」 秀学社

指導の重点	「感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現」 「目的や機能などを考えた表現」 「作品や美術文化などの鑑賞」 「色彩学習」共通項目
教科のねらい	・美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を想像していく意欲と態度を育てる。 ・対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。 ・自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	・美術の表現や鑑賞の活動の中で働き、活用されるような造形的な視点を豊かにするために必要な知識を身につけることができる。 ・材料や用具の特徴を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができる。 ・材料や用具、表現方法の特徴などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すことができる。	授業の様子、作品・アイデアスケッチ・ワークシート等の内容、制作態度全般、定期テスト
観点② 思考・判断・表現	・自分の感性を生かし、アイディアを膨らませ、自分の思いを形にすることができる。 ・友人や作家のさまざまな作品を鑑賞し合い、良さをお互いに尊重し、自分の思いや考えを自分の言葉でまとめることができる。	授業の様子、作品・アイデアスケッチ・ワークシート等の内容、制作態度全般、定期テスト
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組むことができる。 ・自ら問いや課題を発見し、習得した知識や技能などを活用しながら、問題を解決しようと考えることができる。	授業の様子、作品・アイデアスケッチ・ワークシート・感想文等の内容、制作態度全般、定期テスト

授業の受け方	・授業に意欲的、積極的に参加し、つくることの楽しさを実感できるようにしましょう。 ・チャイム着席、制作の準備・後片付けにしっかり取り組みましょう。 ・授業中は私語を慎み、自分のイメージをしっかり持って制作に励みましょう。 ・世界にたった一人しかいない自分の発想や作品のすばらしさに気付き、そこから芸術作品を尊重する気持ちを持ちましょう。 ・提出物は期日を守って必ず提出しましょう。
--------	--

1年	美術
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1		オリエンテーション	美術の楽しみ、授業の形態、留意事項の説明。	授業を受ける姿勢、態度を身につける。
	4	色彩学習の取り組み方 鑑賞	図工と美術の関連 色彩学習のファイルの使い方 いろいろな作品に触れる。	UDで色彩を学ぶ方法を知る。
	5	レタリング 色彩学習	レタリングについて知り、明朝体・ゴシック体を書く練習をする。自分の名前をレタリングする。 色彩の基礎的な知識の学習 (基本色名、三要素などを学ぶ)	明朝体・ゴシック体を書くことができる。 色彩の基礎を理解することができる。
	6	レタリング 色彩学習 絵の具の使い方	レタリングについて知り、明朝体・ゴシック体を書く練習をする。自分の名前をレタリングする。 色彩の基礎的な知識の学習 (色相環、色の三原色などを学ぶ)	明朝体・ゴシック体を書くことができる。 平塗りの方法を知る。
	7	ポスターの描き方 美術館を知ろう	ポスター制作する上での心構えや注意点、課題の説明。 美術館（三重県立）の収蔵品や楽しさを学ぶ。	ポスター制作の心構えや注意点を理解する。 美術館（三重県立）を知り訪れることができる。
	9	音楽を絵にしよう 鑑賞	合唱の曲を聴いて、抽象画の発想を描く。版画の制作をする。 さまざまな版画作品を鑑賞して作者の考えや、版画な	抽象的な表現に関心を持ち音楽を手がかりに主題を表現できる。 版画の造形的な表現の豊かさを味わう。
	10	デザイン 平面構成	構成美の要素を理解し色彩学習の配色を生かして構成を考えながらデザインする。	構成美の要素を使って平面構成のデザインを考えることができる。
2	11	デザイン 平面構成	色彩学習の配色の知識を使ってデザインに沿った任意の色で着彩する。	色彩学習で学んだ配色を使って平塗で工夫しながら着彩することができる。
	12	世界の仮面と出会う	世界各国の仮面を鑑賞する。	形やいろ、材料などの造形的な共通点や違いを捉えることができる。
3	1	立体 立体制作	主題をもとによく観察し、粘土でイメージを表現する。	モチーフの特徴に気付くことができる。
	2	鉛筆で描こう	デッサンの基礎技法を学ぶ。 対象をよく観察し表現する。	デッサンの基礎技法を知る。 明暗やタッチの違いで、幅広い表現ができるようになる。
	3	鑑賞 風神雷神 受け継がれる日本の美	鑑賞シートを使って、鑑賞を行う。	他の作品を見て自分とは違う考えや表現を知り、良さを感じることができる。

教科名	学年	週時間数
保健体育	1	3

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	「中学保健体育」(学研)
副教材	「中学体育実技」(学研) 「学習の達成」(新学社)

指導の重点	知識・技能 主体的に学習に取り組む態度
教科のねらい	・各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ・運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ・生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。	授業観察 学習カード 定期テスト 実技テスト
観点② 思考・判断・表現	運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	授業観察 学習カード 定期テスト
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に自主的に取り組もうとしている。	授業観察 学習カード

授業の受け方	・授業時間を守る。 ・先生の指示をしっかりと見て、聞いて理解する。 ・自分の力を精一杯発揮し、運動を楽しむ。 ・課題を解決するために仲間と協力して取り組む。 ・道具・施設を大切にする。ルールやマナーを守り、安全に活動する。 ・目標をもって、自主的に活動する。
--------	--

1年	保健体育
----	------

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	集団行動	集団行動	・姿勢、方向転換、集合、点呼を学校生活の場で活用する。 ・体力の測定方法や測定結果を知る。
		体力テスト	体力テスト	
	5	体づくり運動	体ほぐしの運動 体の動きを高める運動	・体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法を理解するとともに、目的に適した運動を身につけ、組み合わせることができるようにする。 ・自己の最大スピードを高めたり、チームのタイムを短縮したり、競争したりできるようにする。
		陸上競技	短距離走・リレー	
	6	器械運動	マット運動	・技ができる楽しさや喜びを味わい、その技がよりよくできるようにする。 ・リズムカルな走りから滑らかにハードルを超そうとする。 ・身体には多くの器官があり、発育・発達の時期やその程度には個人差があるということを理解する。 ・運動やスポーツの多様性について理解しようとする。
		陸上競技	ハードル走	
		保健 体育理論	心身の発達と心の健康 運動やスポーツの多様性	
2	7	器械運動	マット運動	・技ができる楽しさや喜びを味わい、その技がよりよくできるようにする。 ・リズムカルな走りから滑らかにハードルを超そうとする。 ・身体には多くの器官があり、発育・発達の時期やその程度には個人差があるということを理解する。
		陸上競技	ハードル走	
	9	球技	ソフトボール	・基本技術を身につけ、仲間と協力し、ゲームを楽しもうとする。 ・剣道の伝統的な考え方を知り、練習をしようとする。
		武道	剣道	
	10	球技	ソフトボール	・基本技術を身につけ、仲間と協力し、ゲームを楽しもうとする。 ・剣道の伝統的な考え方を知り、練習をしようとする。
		武道	剣道	
	11	陸上競技	長距離走	・自己記録の向上を目指し、練習や競技を行おうとする。 ・精神機能は生活経験などの影響を受けて発達することを理解しようとする。
		保健	心身の発達と心の健康	
3	12	陸上競技	長距離走	・自己記録の向上を目指し、練習や競技を行おうとする。 ・空間に仲間と連携して走りこみ、マークをかわしてゴール前での攻防を展開できるようにする。 ・運動やスポーツの多様性について理解しようとする。
		球技 体育理論	バスケットボール 運動やスポーツの多様性	
	1	ダンス	現代的なリズムのダンス	・みんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や表現の仕方など理解し、イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流ができるようにする。 ・健康は主体と環境の相互作用のもとに成り立っていることを知り、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活をおくれるようになる。
		保健	健康な生活と病気の予防	
		球技	サッカー	
	2	球技	卓球	・基本技術を知り、ミニゲームで活用しようとする。 ・基本技術を身につけ、仲間と協力し、ゲームを楽しもうとする。 ・運動やスポーツの多様性について理解しようとする。
		体育理論	運動やスポーツの多様性	
	3	球技	サッカー	・基本技術を知り、ミニゲームで活用しようとする。 ・基本技術を身につけ、仲間と協力し、ゲームを楽しもうとする。
		球技	卓球	

教科名	学年	週時間数
技術	1	1

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	新編「新しい技術・家庭 技術分野」東京書籍
副教材	

指導の重点	・技術（Technology）を活用した問題解決に関する知識・技能、思考力・判断力・表現力 ・知識・技能、思考力・判断力・表現力を身につけるために主体的に試行錯誤する態度
教科のねらい	下記の活動を通して、技術の見方・考え方をいかして、技術的に問題を解決するための知識、技能や思考力・判断力・表現力を身につける ・技術に関する原理や法則、基礎的な技術の仕組みを理解する ・生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定する ・解決方策が最適なものとなるよう設計・計画し、製作・制作・育成を行う ・解決方策の結果や解決過程を評価、改善する

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	・技術の原理や法則に関する内容の知識、技能 (例) 材料の特性の理解、製図方法、加工技能、コンピュータの操作技能など	・小テスト、定期テスト、ワークシートなど ・技能テスト、製作物、製図など
観点② 思考・判断・表現	・問題を解決するための設計・計画のための思考・判断・表現 (例) 問題を解決するための根拠をもった設計図	・ワークシート、設計図、解決策の評価、レポート ・協同的な問題解決場面における対話的な活動の観察
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	・試行錯誤しながら、問題解決に向けて考えようとする態度 ・問題解決に向けて、自己の考えの振り返りと改善	・知識や技能を身につけるための活動の観察 ・ワークシートや設計図、レポート等に関する試行錯誤

授業の受け方	・問題解決に向けて、自分の考えをもつとともに、他の人の考えを尊重し、よりよい解決方法を考えましょう。 ・製作や制作については、安全に配慮しながら行うようにしましょう。また、服装については怪我の防止や破損を避けるためジャージが望ましいです。 ・コンピュータの利用については、情報収集や利用については情報モラルを守り、正しく使いましょう。
--------	---

1年	技術
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	・ガイダンス ・ブリッジコンテスト	・問題を解決するための手順を知る ・解決方法の構想を図と文章で表現する ・強度の高いブリッジを設計・製作する	・技術の見方・考え方を知る ・問題の解決方法の表現方法を知る ・強度を高める技術と工夫を知る
	5	・ブリッジコンテスト	・強度の高いブリッジを設計・製作する ・工具を適切に活用し、製作を行う	・強度を高めるための工夫とシミュレーションの方法を知る ・工具の適切な活用方法について知る
	6	・ブリッジコンテスト	・強度の高いブリッジを設計・製作する ・工具を適切に活用し、製作を行う ・ブリッジの強度について評価する	・強度を高めるための工夫とシミュレーションの方法を知る ・工具の適切な活用方法について知る
	7	・自動掃除ロボットを題材とした協働学習	・3D-CADソフトを使用し、自動掃除ロボットの部品を設計する ・自動掃除ロボットの制御するためのプログラミングを行う	・3D-CADソフトウェアの基本操作技能を習得する ・自動掃除ロボットを制御するためのプログラミングの基礎を知る
2	9	・自動掃除ロボットを題材とした協働学習	・3D-CADソフトと3Dプリンタを使用し、自動掃除ロボットの部品を設計・製作する ・自動掃除ロボットの制御するためのプログラミングを行う	・問題を解決するために、グループで課題を設定し、3D-CADソフトウェア、3Dプリンタ、プログラミングを活用して設計・製作を行いながら、技術的な問題解決能力を身につける
	10	・自動掃除ロボットを題材とした協働学習	・3D-CADソフトと3Dプリンタを使用し、自動掃除ロボットの部品を設計・製作する ・自動掃除ロボットの制御するためのプログラミングを行う	・問題を解決するために、グループで課題を設定し、3D-CADソフトウェア、3Dプリンタ、プログラミングを活用して設計・製作を行いながら、技術的な問題解決能力を身につける
	11	・自動掃除ロボットを題材とした協働学習	・3D-CADソフトと3Dプリンタを使用し、自動掃除ロボットの部品を設計・製作する ・自動掃除ロボットの制御するためのプログラミングを行う	・問題を解決するために、グループで課題を設定し、3D-CADソフトウェア、3Dプリンタ、プログラミングを活用して設計・製作を行いながら、技術的な問題解決能力を身につける
	12	・自動掃除ロボットを題材とした協働学習	・3D-CADソフトと3Dプリンタを使用し、自動掃除ロボットの部品を設計・製作する ・自動掃除ロボットの制御するためのプログラミングを行う	・問題を解決するために、グループで課題を設定し、3D-CADソフトウェア、3Dプリンタ、プログラミングを活用して設計・製作を行いながら、技術的な問題解決能力を身につける
3	1	・地震から身を守る技術	・等角図と第三角法による正投影図について学習する ・耐震、免震、制震の技術について学習する ・地震から身を守る技術を活用した設計・製作を行う	・製図の技能を身につけ、構想したアイデアを適切な製図技法でかけるようになる ・地震から身を守る技術を活用した設計を構想し、試作品を製作することができる
	2	・地震から身を守る技術	・地震から身を守る技術を活用した設計・製作を行う	・製図の技能を身につけ、構想したアイデアを適切な製図技法でかけるようになる ・地震から身を守る技術を活用した設計を構想し、試作品を製作することができる
	3	・地震から身を守る技術	・地震から身を守る技術を活用した設計・製作を行う ・設計や製作物を評価する	・地震から身を守る技術を活用した設計を構想し、試作品を製作することができる ・設計・製作物を評価する

教科名	学年	週時間数
家庭	1	1

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して (東京書籍)
副教材	新家庭科総合資料(正進社)

指導の重点	自分の身の回りの生活への関心、生活を豊かにするための工夫、生活にかかわる基本的な技能
教科のねらい	○衣食住などの生活にかかわる基礎的・基本的な知識及び技術を習得することにより、生活の自立を目指す。 ○自分の家庭を取り巻く社会や環境に関心を持ち、生活をよりよく豊かに創造しようとする能力と態度を育成する。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	自分の身の回りの衣食住などの生活について理解し、基礎的・基本的な知識や技術を身に付けている。グループ活動では、仲間を思いやり、協力して作業を進めることができる。実習では、安全面に配慮しながら作業に取り組むことができる。	テスト 提出物 実習の様子（取り組み方） 作品（完成度）
観点② 思考・判断・表現	自分の身の回りの生活をよりよくするための工夫について考えている。作品に、自分らしさを表現できている。課題について調べた事柄を工夫してまとめている。	授業の様子（発言の内容） 提出物 作品（工夫・表現） 授業プリント
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	話をしっかり聞き、自分なりの意見を持ち、発表ができる。授業プリントやワークシートなどを丁寧にまとめることができる。授業に必要な持ち物を忘れずに準備し、提出物の期限を守れている。グループ活動や実習では、仲間を思いやり、協力して作業を進めることができる。	授業の様子（発言・活動・態度） 実習の様子（取り組み方） 準備物 提出物 授業プリント

授業の受け方	・自分の日常生活に関心を持ち、課題を解決していくための手だてを考えよう。 ・授業や課題には集中して取り組み、実習では安全面に配慮して取り組もう。 ・学んだことは、必ず自分の生活に役立てていこう。 ・持ち物などの忘れ物をしないようにしよう。 ・提出物は期限を守ろう。
--------	--

1年	家庭
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1		ガイダンス		
	4	2 編 私たちの食生活 1 章 食事の役割と中学生の栄養の特徴	食事の役割	・生活の中で食事が果たす役割について理解する。
	5	1 章 食事の役割と中学生の栄養の特徴	私たちの食生活 栄養素の種類と働き	・健康によい食習慣について理解できる。 ・栄養素の種類と働きについて理解できる。
	6	1 章 食事の役割と中学生の栄養の特徴 2 章 中学生に必要な栄養素を満たす食事	中学生に必要な栄養 食品に含まれる栄養素	・中学生に必要な栄養の特徴について理解できる。 ・身近な食品の栄養的な特徴について理解できる。
2	7	2 章 中学生に必要な栄養素を満たす食事	6つの食品群と食品群別摂取量の目安	・6つの食品群の特徴と食品の種類と概量について理解できる。
	9	2 章 中学生に必要な栄養素を満たす食事	6つの食品群と食品群別摂取量の目安 バランスの良い献立作り	・6つの食品群の特徴と食品の種類と概量について理解できる。 ・バランスの良い献立作成に必要な手順や要素について理解できる。 ・中学生に必要な食品の種類と概量を踏まえて、工夫して1日分の献立を作成できる。
	10	3 編 私たちの衣生活 1 章 衣服の選択と手入れ	衣服の役割 私らしさとT・P・O 日本の衣服の文化	・衣服の社会生活上の働きについて理解できる。 ・目的に応じた着方を踏まえ、自分らしい着方を工夫できる。 ・日本の衣服の文化を理解し、継承する大切さに気づくことができる。 ・和服と洋服の構成や着方の違いについて理解できる。
	11	1 章 衣服の選択と手入れ	衣服の手入れ①衣服の補修 衣服の手入れ②衣服の洗濯と保管 衣服計画と必要な衣服の選択	・衣服の材料や状態に応じた手入れができる。 ・既製服の選択と購入のために必要な情報について理解できる。 ・目的に応じた購入方法を考え、表示を読み取って、適切に選択できる。
3	12	2 章 生活を豊かにするために	作って楽しい布作品	・製作に適した材料や縫い方、用具の安全な取り扱い方について理解できる。 ・資源や環境に配慮して布を用いた物の製作計画を考え、工夫して制作できる。
	1	2 章 生活を豊かにするために	作って楽しい布作品	・製作に適した材料や縫い方、用具の安全な取り扱い方について理解できる。 ・資源や環境に配慮して布を用いた物の製作計画を考え、工夫して制作できる。
	2	2 章 生活を豊かにするために	作って楽しい布作品	・製作に適した材料や縫い方、用具の安全な取り扱い方について理解できる。 ・資源や環境に配慮して布を用いた物の製作計画を考え、工夫して制作できる。
	3	3 章 持続可能な衣生活	持続可能な衣生活を目指して	・持続可能な衣生活を目指して、課題とその解決方法を考え、衣生活を工夫できる。

教科名	学年	週時間数
英語	1	4

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	NEW HORIZON English Course 1 (東京書籍)
副教材	JOYFUL WORKBOOK 1 (新学社) 学習の達成 (新学社) Benjamin (正進社) 読み書きラボ (正進社)

指導の重点	学ぶ意欲 表現力 言語活動
教科のねらい	1. はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。【聞くこと】 2. 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。【読むこと】 3. 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。【話すこと（やり取り）】 4. 関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて話すことができる。【話すこと（発表）】 5. 関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。【書くこと】

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	授業内での言語活動 テーマの説明に使用される語句や文法事項及び英語表現	授業観察 パフォーマンステスト インタビューテスト 定期テスト
観点② 思考・判断・表現	授業内での言語活動 テーマの説明に使用される語句や文法事項及び英語表現	授業観察 パフォーマンステスト インタビューテスト 定期テスト
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	授業内での言語活動 テーマの説明に使用される語句や文法事項及び英語表現 テーマを説明するパフォーマンス	授業観察 パフォーマンステスト 振り返りシート

授業の受け方	・ 指示や説明、発表をしっかりと聞く。 ・ 間違いを恐れず、積極的に英語を使ってコミュニケーションを取ろうとする。 ・ ペアやグループで協力し、学びあう雰囲気をつくる。 ・ わからないところや気になるところがあれば、先生や友だちに質問して解決する。 ・ 自分が取り組んだことを振り返り、学びにつなげるようにする。 ・ その日学習したことを、家庭で副教材等を使って復習する。
--------	---

1年	英語
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	学び方コーナー Unit 0 Sounds and Letters 0 Grammar for communication 0 Unit 1	場面の表現 英語の音と文字 ◆英語の語順 I am ... I like ... Do you ...? I do not... Are you ...? I am not...	・小学校で習った表現を使ったり、単語を読んだり書き写したりすることができる。 ・クラスメートとあいさつをしたり、好きなものをたずね合ったりすることができる。 ・自分のことを伝えたり、相手のことをたずねたりすることができる。
	5	Sounds and Letters 1 Unit 2 Sounds and Letters 2 Grammar for communication 1	Are you...? I am not... He[She] is... Is he[she]...? I can... Can you...? This[That] is... Is this...?	・身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができる。 ・アルファベットのさまざまな母音の発音をすることができる。
	6	Unit 3 Sounds and Letters 3 Grammar for Communication 2 Unit 4	What...? Who...? How...? When...? Where...? It is 前置詞... 英語の音と文字 ◆疑問詞 How many...? What time...? What+名詞...? 命令文	・知らないものや人についてたずねたり、いつ・どこなのかをたずねたりすることができる。 ・数や時刻、好きなものについてたずねたり、指示や助言をしたりすることができる。
	7	Sounds and Letters 4 Grammar for Communication 3 Stage Activity 1 Our Summer Vacation	英語の音と文字 ◆名詞 ◆既習事項の総復習	・単語を読んだり、意味の区切りを意識して音読したりすることができる。 ・名詞の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 ・自分の好きなことについて、つながりのある文章を書くことができる。 ・夏の思い出を伝え合うことができる。
2	9	Unit 5 Real Life English 1 Grammar for communication 4 Unit 6	三人称単数現在形（肯定文） 三人称単数現在形（否定文） 三人称単数現在形（疑問文） 人称代名詞の目的格 Why don't you...?	・自分と相手以外の人やものなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。 ・コマーシャルを聞き、必要な情報を聞き取ることができる。
	10	Unit6 Real Life English 2 Grammar for Communication 5 Unit 7	Which ... (, A or B)? Whose ...? mine, yours ◆命令文 ◆人称代名詞 現在進行形 現在進行形（肯定文） 現在進行形（疑問文） Can I...? Can you...?	・自分と相手以外の人について話したり、だれのものかをたずねたりすることができる。 ・身近な人に許可を求めたり、依頼したりすることができる。 ・今していることについて説明したり、たずねたりすることができる。
	11	Real Life English 3 Grammar for Communication 6 Unit 8	感嘆文 (How ...!, What ...!) ◆I want to ... What do you want to ...? I'm looking for ... — Go along this street. Turn left at ...	・徒歩での道順をたずねたり、教えたりすることができる。 ・したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりすることができる。
	12	Real Life English 4 Stage Activity 2	What would you like? — I'd like ... Would you like ...? — Yes, please. [No, thank you.]	・レストランなどで、注文をしたり質問に答えたりすることができる。 ・好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、説明したりすることができる。
3	1	Unit9 Real Life English 5 Grammar for communication 7	一般動詞の過去形 規則動詞の過去形（肯定文） 不規則動詞の過去形（肯定文） 一般動詞の過去形の疑問文、否定文	・過去の出来事について説明したり、たずねたりすることができる。 ・旅先からの絵はがきを書くことができる。 ・一般動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。
	2	Unit 10 Real Life English 6 Grammar for Communication 8 Learning Literature in English	There is [are] ... ◆be動詞の過去形、過去進行形 What's wrong? — I have a stomachache.	・過去の状態や気持ち、過去のある時点でしていたことについて説明することができる。 ・症状やこれまでの出来事などを伝えることができる。 ・英語で書かれた文学作品を聞いて話の概要を捉え、物語の構成を理解することができる。
	3	Stage Activity 3 Let's Read	◆既習事項の総復習	・思い出に残った出来事について発表することができる。 ・物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解することができる。

教科名	学年	週時間数
道徳	1	1

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	中学道徳あすを生きる 1（日本文教出版）
副教材	

指導の重点	・望ましい生活習慣を身につけるとともに、自己を見つめ、自己の向上を図り、自主的に考え、行動ができるようになる。 ・礼儀を身につけ、他人を思いやり、尊重する行動ができるようになる。 ・自然と親しむ態度を養う。 ・学習や体験を通して、自己が属する集団での役割と責任を自覚し、向上に努める。
教科のねらい	人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。

	評価場面 評価方法
・数値による評価ではなく、記述式とする。 ・個々の内容項目ごとではなく、大きくりなまとまりを踏まえたものとする。 ・他の生徒との比較による評価ではなく、生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価とする。 ・道徳科の学習活動における生徒の具体的な取り組み状況を一定のまとまりの中で見取ること。 ・学習活動において生徒がより多面的多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身とのかかわりの中で深めているかといった点を重視する。	・授業観察（発表、態度等） ・グループ活動（発表、態度等） ・ワークシート

授業の受け方	・自分の想いをワークシートに書けるようにする。 ・人の発表や発言はしっかりと聞き、自分の考えをはっきりと言えるようにする。 ・話し合いを通して、自分の想いや考えを深め、それをまとめることができる。
--------	--

1年	道徳
----	----

学習年間計画

通算 (回)	月	内容項目	資料・教材名	ねらい
1	4	A-(4) 希望と勇気、克己と強い意志	サッカーの漫画を描きたい	目標に向かって、希望と勇気をもって着実にやり抜こうとする実践意欲を育てる。
2		D-(22) よりよく生きる喜び	挫折から希望へ	人間には弱さとともにそれを克服する強さや気高さがあることを理解し、よりよい生き方をしようとする実践意欲を育てる。
3		B-(6) 思いやり、感謝	人のフリミテ	日々の生活の中で自分を支えてくれている多くの善意や思いやりに気付き、自分の感謝の気持ちを素直に表そうとする態度を育てる。
4	5	B-(7) 礼儀	「愛情貯金」をはじめませんか	あいさつの意義などを主体的に考え理解し、時・場所・場面に応じて適切な言動をしようとする実践意欲と態度を育てる。
5		C-(11) 公正、公平、社会正義	さかなのなみだ	同調圧力などに屈することなく、自己と向き合い互いに協力して正義や公正を実現するために努力しようとする態度を育てる。
6		B-(8) 友情、信頼	体育祭リレーメッセージ	体育祭のクラス全員リレーにおいて、互いの気持ちや意気込みを共有することを通して、他への思いやりの心や相互に協力し合おうとする実践意欲を育てる。
7	6	A-(3) 向上心、個性の伸長	トマトとメロン	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする態度を育てる。
8		D-(19) 生命の尊さ	ばあば	生命は先祖代々つながっており、関わり合い支え合ってきたことを深く自覚するとともに、お世話になった方を尊重しようとする態度を養う。
9		C-(10) 遵法精神、公德心	ふれあい直売所	きまりの意義を理解し守ることで、自他の権利を重んじ、よりよい社会をつくらうとする実践意欲を育てる。
10		C-(12) 社会参画、公共の精神	あったほうがいい？	身近なゴミ問題を考え話し合うことをとおして、社会に尽くす公共の精神について深く考え、よりよい社会の実現に努めようとする態度を育てる。
11	7	D-(22) よりよく生きる喜び	子どもの権利条約	すべての子どもには自分らしく生きる権利があるということを知り、それらが侵されることのないよう、積極的に行動しようとする態度を育てる。
12		C-(11) 公正、公平、社会正義	人権作文	身近な人権問題について考え、問題に対する自分の考えを表現することをおして、すべての人間が安心して自分らしく生きることができる社会を実現しようとする態度を育てる。
13		A-(2) 節度、節制	疾走、自転車ライダー	身近に起こりうる交通事故をもとに、安全や危機管理の大切さを理解し、安全で調和のある生活を送ろうとする実践意欲と態度を育てる。
14	9	C-(18) 国際理解、国際貢献	花火に込めた平和への願い	国際的視野に立って、他国を尊重することと世界平和の大切さを理解するとともに、よりよい社会形成や人類の発展に貢献しようとする実践意欲を高める。
15		B-(8) 友情、信頼	部活の帰り	異性についての理解を深め、互いに相手の人格を尊重し、接していく態度を育てる。
16		A-(1) 自主、自律、自由と責任	私らしさって？	周囲の目に惑わされず、自分の中にある自主性を大切に、自分で決め、考え、行おうとする実践意欲を育てる。
17	10	C-(15) よりよい学校生活、集団生活の充実	むかで競走	学級や学校の一員として自らの役割と責任を自覚し、協力し合って学校生活を充実させようとする態度を育てる。
18		C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	震災を乗り越えて一復活した郷土芸能一	郷土によって育まれてきた伝統と文化のよさを理解し、郷土への誇りや愛着をもち、郷土に対して主体的に関わろうとする心や態度を育む。
19		C-(10) 遵法精神、公德心	使っても大丈夫？	法やきまりの意義を理解し、自他の権利を重んじる自覚と判断力を養う。
20		C-(18) 国際理解、国際貢献	違いを乗り越えて	日本の習慣や文化のよさを理解するとともに、他の国々の人々や文化に対する理解を深め、尊重しようとする実践意欲を高める。
21	11	D-(19) 生命の尊さ	あふれる愛	生命の尊さについて、その連続性や有限性も含めて理解し、かけがえのない生命を尊重しようとする精神と態度を育てる。
22		C-(12) 社会参画、公共の精神	富士山から変えていく	公德心及び社会連帯の自覚を高め、一人ひとりが協力し、よりよい社会を実現していこうとする実践意欲を育てる。
23		D-(20) 自然愛護	木の声を聞く	自然の崇高さを知り、自然に謙虚に向き合いながら自然の愛護に努めようとする態度を育てる。
24		D-(21) 感動、畏敬の念	バスと赤ちゃん	思いやりの心をもって人と接するとともに、多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、人間愛の精神を深める。
25	12	C-(14) 家族愛、家庭生活の充実	家族と支え合うなかで	父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員として協力し合って生活しようとする実践意欲を高める。
26		C-(13) 勤労	私は掃除のプロになる	働くことを通じて、喜びや生きがい、社会とのつながりを実感し、社会に貢献しようとする実践意欲を育てる。
27	1	C-(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	奈良筆に生きる	日本人としての自覚をもって我が国の優れた文化を継承し、その創造に貢献しようとする態度を育てる。
28		D-(19) 生命の尊さ	ゆうへー生きていてくれてありがとう一	多くの人々の支えによって生きていると気付くことで、誰もがかけがえのない存在であると理解し、互いの存在を大切にしようとする実践意欲を育む。
29		B-(9) 相互理解、寛容	自分だけ「余り」になってしまう……	いろいろなものの見方や考え方があることに気付き、寛容の心をもって謙虚に他者から学ぶ態度を育てる。
30	2	B-(8) 友情、信頼	卒業メッセージ	卒業生にメッセージを伝えることを通じて、先輩に対する感謝の心や、伝統・文化を大切に受け継いでいこうとする態度を育てる。
31		D-(21) 感動、畏敬の念	オーロラ一光のカーテン一	人間の力を超えた自然の素晴らしさに素直に感動し、自然の中で生かされていることを自覚して、自然に対する畏敬の念を深める。
32		A-(1) 自主、自律、自由と責任	裏庭でのできごと	自分の行動に責任をもち、自らを律し、誠実に生きようとする判断力を育てる。
33		C-(13) 勤労	役に立つことができるかな	勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献する態度を育成する。

34	A-(5)	真理の探究，創造	緑のじゅうたん	現実を謙虚に受け止め，努力と工夫を重ね，理想に向かって人生を切り拓きたくましく生きようとする実践意欲を育てる。
35	C-(16)	郷土の伝統と文化の尊重，郷土を愛する態度	「肝心」のバスガイド	先達のおかげで今の暮らしを営むことができると認識し，尊敬の念や感謝の気持ちを深め，主体的に郷土に関わろうとする心や態度を育てる。